

(お 知 ら せ)

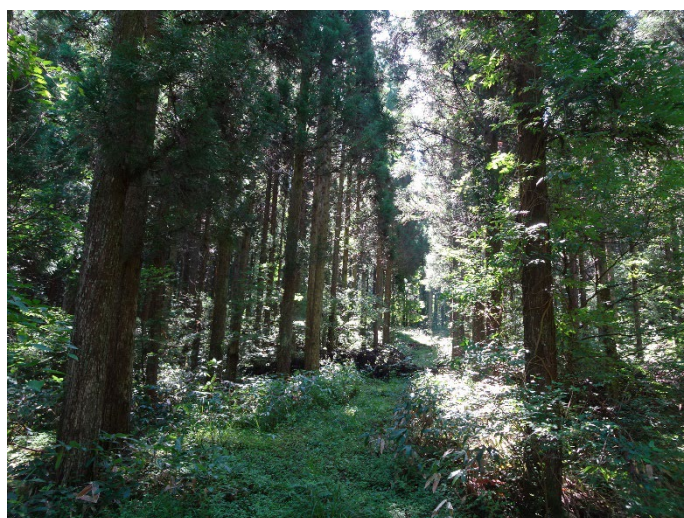
2025年2月27日
中国電力株式会社

北広島町における当社社有林の 環境省「自然共生サイト」認定について

当社は、広島県山県郡北広島町に保有する社有林^{※1}の一部(約150ha)について、民間の取り組み等によって生物多様性の保全が図られている区域として、本日、環境省から「自然共生サイト」^{※2}の認定を受けましたのでお知らせします。同認定を受けるのは当社として初めてです。

本件は、当社が昨年8月に同町と締結した「生物多様性の保全等に向けた相互の連携・協力に関する協定」^{※3} ([2024年8月5日お知らせ済み](#))に基づく取り組みの一環として、昨年9月に環境省へ「自然共生サイト」への認定申請を行っていたものです。

当社が同町に保有する社有林について、計画に基づく定期的な間伐や巡視など、森林の適切な育成・管理に継続的に取り組んできたことを評価いただけたものと考えています。



〈自然共生サイトの認定を受けた当社社有林〉

当社は引き続き、「中国電力グループ環境行動計画」に基づき生物多様性の保全に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

※1 当社は、水力発電に必要な水を継続して確保・利用するため、岡山県の吉井川・高梁川、広島県の太田川の上流に約1,500haの社有林(水源かん養林)を保有。うち、北広島町においては、太田川の上流に約290haを保有している。

これらの森林は、水源かん養機能(森林の土壌が降水を貯留し、河川へ流れ込む水の量を平準化して洪水を緩和するとともに、川の流量を安定させる機能)のほか、CO₂の吸収や土砂流出の防止、野生動植物の生息環境保護など多くの機能を有している。

※2環境省が2023年度から開始し、ネイチャーポジティブ（自然を回復軌道に乗せるために生物多様性の損失を止め反転させる）の実現に向けた取り組みの一つ。企業の森や里地里山、都市の緑地など民間の取り組み等によって生物多様性の保全が図られている区域を「自然共生サイト」に認定し、民間の活動を促進する取り組み。

※3北広島町との連携事項と取り組み例

連携事項	当社が検討中の取り組み例
(1)生物多様性の保全に関すること	当社が北広島町に所有する社有林（水源かん養林）について、生物多様性の保全が図られている区域として、環境省から「自然共生サイト」に認定
(2)森林資源活用に関すること	北広島町における森林のJ-クレジット創出支援 等
(3)カーボンニュートラルに関すること	
(4) (1) (2) (3)の普及活動に関すること	間伐体験等を通じて自然の大切さを学ぶ森林イベントの開催

以 上